



## 2022 年が終わります

校長 伊地知みゆき

あっというまに今年も残りわずかとなりました。

11月21日から12月9日まで人権週間でした。本校では毎年11月末から12月末まで「ひびきあい活動」として人権の取組を行っています。先日の授業参観で見ていただいた「命の授業」もひびきあい活動の一つです。また、高学年がリードして行った「蛭川かるた大会」の取組も異学年の仲間が教え合うひびきあい活動です。その他にも「あったかい言葉かけ県民運動」に応募したり、「人権川柳・人権標語ポスター」作りに取り組んだり、学校中で人権に関わることを取り上げ、啓発し、差別やいじめのない生活を目指しました。

しかし、子どもたちの中で「からかい」「ちくちく言葉」等、相手が嫌がる言動がそう簡単にはなくならないのが現状です。世の中からも差別やハラスメント等がゼロにならないように。「人間って弱い生き物だなあ」と思います。だからこそ、私たちは子どもたちに何度も何度も「正しい言動とは」「よりよく生きるためには」と、問いかけます。やってしまった過ちを認め心から謝罪することはもちろん、相手や自分を責めるのではなく、どうしてそうになってしまうのか自分自身を振り返らせるのも大切な生き方教育と考えます。

おりしも世の中はサッカーW杯で盛り上がっている最中でした。子どもたちの中にも「ドイツに勝った、スペインに勝った」「PK惜しかった」などとテレビやネットで見た試合について話題にする姿がありました。昼休みには校庭のサッカーゴールを取り合うようにしてサッカー遊びが盛り上がっています。

コロナ禍で外遊びも少なくなり、友達との関わりもオンラインゲームやタブレット等で行うことが増えているこの頃です。学校生活でもコロナ感染が拡大してからずっと、近い距離の関わりに用心しています。一緒に汗を流して駆け回って遊んだりすることも少ないまま今年も終わります。

校庭で学年関係なくボールけりを楽しんでいる子どもたちを見ながら、ワールドカップのサッカー一選手のように、大人が夢や目標に向かって一生懸命に打ち込み、達成感を味わう姿をもっと子どもたちに見せなければと思うことでした。

27日より1月9日まで子どもたちは冬休みになります。年末年始の毎年行われる恒例の催しは、家族や地域の大人の方と触れ合う絶好の機会です。大掃除やお正月の準備、親戚の集まりなど、ぜひ子どもたちも関わらせてほしいです。そうして私たち大人が引き継いできた伝統や、大切にしているものを感じさせてください。

今年も蛭川小へのご協力とご支援をたくさんいただきありがとうございました。

来年もどうぞよろしく願いいたします。



～落ち葉掃きのボランティア活動～  
きれいになった二宮金次郎像が見守ってくれています

### ～自分でできたよ・お手伝いしたよ～「お弁当の日」

PTA 家庭教育学級の取組として、11月末に行われた授業参観日を「お弁当の日」とし、学年に応じて自分で作った弁当を持参して登校しました。1年生もできる範囲でおうちの人と一緒に自分のお弁当を作り、力作が揃いました。

お弁当の中身を嬉しそうに説明してくれる姿と、食べる時の笑顔が心に残る時間でした。ご協力ありがとうございました。



### 【新しい先生の紹介】

12月19日から【特別支援アシスタント】として、坂田 繭子（さかたまゆこ）先生が来てくださっています。3月末まで、毎日3～4時間の短時間勤務ですが、特別支援学級だけでなく、全校児童の学習や生活の支援をさせていただきます。